

令和5年度事業概要報告書

(一社) 宮崎県肉用牛枝肉価格安定基金協会

(1) 事業概況

令和5年度は、第10業務年間(4～6年度)の2年目として実施した。

新型コロナウイルス感染症の5類以降後、外食産業については徐々に回復しつつあるものの、円安を背景とした物価上昇により和牛から豚肉、鶏肉へのシフトが見られるなど牛肉消費意欲の減退が見られ、和牛枝肉相場は1年を通して低迷した。

一方、子牛価格については、枝肉相場の低迷と飼料価格をはじめとした生産費の上昇により低下しており肥育農家の素畜費を押し下げているものの、肥育農家も同じく生産費の上昇が経営を圧迫している。

このような中、当協会としては補てん基準価格を第1四半期2, 746円/kg、第2四半期2, 851円/kg、第3四半期2, 862円/kg、第4四半期2, 686円/kgに設定し、和牛肥育農家の経営安定を目指した結果、第1四半期1, 284頭、第2四半期1, 309頭、第3四半期1, 488頭、第4四半期1, 301頭、合計5, 382頭、総額53, 820, 000円の補てん発動を行った。

①補てん準備財産

補てん準備金前期繰越高	4,237,606 円
当期通常積立金	53,860,000 円
当期補てん金	53,820,000 円
当期受入利息	27,782 円
補てん準備金残高	4,305,388 円

②普通財産

事業預け金	61,660,000 円
預り寄託金	61,660,000 円
前年度繰越金	2,149,361 円
当期受入利息	477,736 円
当期事業管理費	408,444 円
残高	2,218,653 円